


大項目	時計
小項目	時間の計算
タイトル (教材名)	〇分前、〇分後は何時何分？
目的 身につけてほしい力	何分前、何分後は何時何分になるのかを計算することができる。 「時間の流れ」を視覚的に捉えることができる。
教材の概要	①インターネットで「幼児の学習素材館」を検索し、「時計の文字盤と針(3)」を無料ダウンロードして印刷する。(必要に応じて拡大する) ②カラーのセロハン(100円ショップで販売されている、材質がビニールの透明折り紙)を用意する。カラーセロハンを時計の目盛りに合わせて、扇形に切る(下の写真参照)。必要に応じて5分、10分、15分など様々な形を作る。
材料 作り方 工夫点など	
画像	 <p>③時計の目盛りに合わせて、扇形のカラーセロハンの端にマジックで目盛りを書いておくと使いやすい。ラミネートをすることで長持ちする。</p> 
教材の使用方法	<p>例：「8時55分の10分後は何時何分でしょう？」</p> <p>①写真のように扇形セロハンを配置する。</p> <p>②指導者と一緒に目盛りを数えて「10分後」を確認する。</p> <p>③10分後の時間を読む。</p> <p>※扇形セロハンが「12」の数字をまたぐ場合は、8時が9時になるように、「時」の数字が「1」大きくなることを必ず指導する。</p> 
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の例のように、〇分後に「時」の数字が変化する場合にイメージが持ちやすいと考えられる。 ・〇分前の問題にも使用できる。 ・参考 URL 「幼児の学習素材館」 http://happyililac.net